

平成 19 年 6 月 14 日

東京フォーラム

於：湯島聖堂

中斎塾 東京フォーラム 第 3 回講話

おはようございます。

恒例でございますので、お聞きします。

朝起きてから今の時間まで、嘘をつかなかった方はいらっしゃいますか？

・・・(沢山手が挙がりました。有難うございます)

昨晚寝る時に、“今日一日、満ち足りた日だったなあ”と満足して眠りについた方はどれくらいおられますか？

・・・(少し人数が減りましたね)

寝る時に「今日は良い一日だった」と思って寝ると良いですね。

もう一つお聞きします。

ここ 1 ヶ月くらいを考えてみて下さい。

自分だけ儲けよう、自分だけ良い思いをしよう、自分だけ良ければよい・・・と、心の中で思って行動した事はありませんか？

・・・(猪瀬常任理事は、さすがに即答で「ない」と答えられました)

こういった質問を、最近テレビでよく顔が出ているコムスンの社長とか社会保険庁の長官、そしてミートホープの社長にしてみたいですね。

今回から、このフォーラムで三つお聞き致します。

まず、嘘をつきませんでしたか・・・。

嘘をつくというのは、自分自身の心の中にも嘘をつくわけですから、自分で自分に言い訳しながら生きていくのは、うれしくありません。

やはり嘘をつかない人生が良い。

二番目は、満ち足りて眠りにつきましたか・・・。

これは渋澤栄一先生の「三省」をご紹介します。

論語に「吾れ日に三度吾が身を省みる。人のために謀りて忠ならざるか。朋友と交わりて信ならざるか。習わざるを伝えしか」という言葉があります。

渋澤栄一先生は、毎晩夜寝る時に、まさにこれを実行されました。

今日はどなたにお会いしてどういう話をし、どういう約束をしたか、寝る前に思い出して、満足したら眠りについたのでそうです。

真心を持って人さまとお付き合いをしたか。

友人とお付き合いをして、ついリップサービスをしてはいないだろうか。

人から聞いたり自分ではと思った事を、自分で熟読玩味せずに一知半解で人に伝えてはいないだろうか。

以上が三省です。

満ち足りた眠りについたらどうかをお聞きしたのは、急にふっと思いついたのではなく、このように脈々と伝わったものの考え方・学び方があって、それらを所々抽出してお話しているわけです。

ですから皆さんは其中で、自分の波長にあったものの考え方や行動の仕方を取り入れられると有難いと思っています。

最後に、自分だけ儲けようとしませんでしたか・・・。

今、マスコミで槍玉に上がっている人達を見れば一目瞭然です。

まさに「利によりて行なえば、怨み多し」です。

自分自身の欲だけで動くと、後が大変です。

これは日常生活の中で、利益だけでなく、自分の身体の健康管理など全部につながる話だと思います。

以上、基本哲学と私の好きな言葉のご紹介を致しました。

では、**心に残る言葉**を申し上げます。

今回は、中村天風先生の『君に成功を贈る』という本からご紹介します。

「たとえ身に病あれど心まで病ませない、運命に非なるものあれど心まで悩ませない」

例えば身体のどこかを怪我して、手術が必要になったとします。

手術する部分だけは痛いけれども、自分の心までメスを入れるわけではないから、心は少しも痛くない。

そう思って手術を受けられるのが良いと思います。

人間死ぬ氣になれば何でもやりますが、死ぬ氣になった時は、視野がとても狭くなっています。

本人は潔しと思っているかも知れませんが、先日亡くなられた松岡農水相のように、「日本国、安倍総理万歳」といった文章を残して自殺すると、海外からの波紋は違います。

たまたま私はトルコにいたのですが、<日本の現職大臣が自殺をした。何故自殺をする

のか・・・大変な国だ>というような反応でした。

日本は毎年3万人以上の方が自殺をしています。

これも外国の方には、信じられないことです。

死ぬという行為をする時には、視野が狭まってしまうのだという事を是非覚えておいて戴きたい。

誰しも、死にたいという気持ちになる事が絶対にないとは言えません。

もし死にたくなったら、少し視野を広げてみると、多分思い留まる事が出来ると思います。

「運命に非なるものあれど心まで悩ませない」・・・運命が自分の思い通りにならなくても、心まで悩ます事はないという意味です。

心を悩ませてしまったら、視野狭窄で回りが見えなくなります。

例えば家族に不幸があるとか、重い病気になって自分の人生が相当変わったとしても、心までは悩ませてはいけません。

天風先生の本の中の説明が実におもしろいのですが、病気になって今にも死にそうで、うなっている人がいました。

それが好きで好きでたまらない女の子が来たら、病を忘れたというのです。

つい今迄、本人は「痛い・苦しい」と思っていたのが、好きな女性が来たら、気持ちがコロッと変わるわけです。

同じでことで、今「大変だ・苦しい」と思っても、コロッと変える何か手法を自分でお持ちになれば、変えられるのです。

変えられるコツをお持ちになればよい。

そのコツは、自分の好きな人を思い浮かべるのも良いし、自分がやりたくてたまらない事をやってみるのも結構だと思います。

本日のテーマを申します。

本日は、**事上磨練と知行合一**です。

事上磨練とは、一般の社会生活の中で自分を磨く事です。

机に向かって一所懸命勉強をして、磨いていく事ではありません。

日常生活の中でおやっと思ふものを、自分の生活の中へ取り込んでいく。

それを開花していくことで、自分でも気が付かないうちに、レベルが上がったなと感じるようになります。

知行合一は、即行動です。

事上磨練と知行合一については、事例をご紹介してお話し致します。

先日私はトルコに行って参りましたので、トルコの旅でご説明します。

お配りしたレジメ<トルコの旅を終えて>をご覧ください。

まずトルコの訪問時の印象について申します。

人と車が溢れていました。

以前、中国に行った時には人と自転車が溢れていて驚きましたが、これにはやはりびっくりしました。

車がどんどん走っている中を、人が縫って歩いているという状況でした。

石畳なのですが結構でこぼこしている道を、車が暴走しているような印象でした。

信号が赤でも止まらない車もあって、よほど用心して信号を渡らないとはねられてしまう危険性がありました。

又、治安の悪化に伴ってのセキュリティチェックが、生活の中に溶け込んでいました。

これも驚きました。

トルコについてすぐにジェットロの入っているビルに行きましたが、飛行機に乗る時と同じようにゲートがあってセキュリティチェックをされます。

パスポートを取り上げられて、代わりに入管証を胸に付けて中に入りました。

帰りに、入管証とパスポートを交換します。

スーパーで買い物をするのにもゲートがあり、車を止められてトランクや車体の裏までチェックをされます。

観光施設へ行っても、同じようにセキュリティチェックがあります。

それをトルコの人達は不思議に思わないで、淡々とセキュリティチェックを受けていました。

トルコの経済破綻についてお話しします。

2005年1月1日にトルコはデノミをして、0を6つ切り下げました。

100万円が1円になったわけです。

何故トルコはデノミをしたのか、氣になって氣になってならず、トルコへ出かけました。

デノミは、普通で考えると、呼び方を変えるだけです。

しかしロシアの場合のデノミは、名前だけでなく価値も一緒に落としてしまいました。

ですから大金持ちが一瞬にして乞食になってしまったのが、ロシア型のデノミです。

トルコのデノミは、呼び方だけ変えました。

しかし0をいっぺんに6つも落としたのですから、相当なインフレなのだと思います。
インフレの状況を地元の方に聞くと、30年間くらいの間、だらだらとインフレが続いていたそうです。

2001年の経済危機では、ある日突然金利が大暴騰しました。

ロシアと同様に金持ちが、特に会社経営者が一瞬にして乞食になる状況が生まれていったわけです。

国民はそういう状況の中でどうやって生きていたのか。

生活程度を落とすだけで、餓死まではいきませんでした。

パンとスープと野菜だけで生きているのが貧困層です。

どういう希望があるのかと思いますが、意外にも顔つきは明るいので驚きました。

私は昨年、アルゼンチン・ブラジル・ペルー・中国・韓国・ロシアを回ったのですが、思ったよりも結構表情が明るい所が多かったのに驚きました。

アメリカでは、いくら働いても絶対に良くなれないという悪循環に陥ってしまった貧困層の人たちがいて、そういった人達は無表情になっているといえます。

そういう階層が出現していると聞きましたので、今度行って見てきたいと思っています。

その点から見ると、トルコの場合、まだまだ夢や希望が沢山あるぞというように感じました。

トルコがデノミをした理由は、経済破綻です。

では経済は何故破綻したのか。

同じように経済が破綻したロシア・アルゼンチン・ペルー・ブラジル・・・どこの国でも共通して言える事は、政治家の腐敗が酷いことです。

政治家が腐敗し、官僚が腐敗し、汚職が当たり前です。

トルコの場合は、仮に10億円くらいの政府関係のプロジェクトがあるとすると、4割か5割が潤滑油としての賄賂だそうです。

それくらいの金額がないと、一つのプロジェクトが動かないという事を、至る所で聞きました。

トルコの場合、地下経済が大体4割だそうです。

トルコの国会議員は550名ですが、それが入れ替わり立ち代り、小さいグループ同士で連立政権を繰り返していました。

その中からAKPという政党が出て、単独政権を握りました。

トルコはイスラムが99%を占めていますが、AKPは特にイスラムの貧困層に白物家電

を配って、票を集めたのです。

資料によりますと、トルコの場合は政教分離が建前ですけれども、最近の政権与党は新イスラエル色を強めた政党が出現しているわけです。

たまたま私は5月31日に買い物をしましたが、消費税が18%でした。

翌日6月1日になったら、消費税を8%に切り替えるという発表がありました。

政権与党が票集めの為にやったというのがもっばらの話でしたが、それで政権が安泰かというところでもないらしくて、あまりに票を確保しすぎると、軍と政党とのせめぎ合いがあるという事です。

そうなると国の経済が破壊されますから、あまり大勝ちしても困るし、大負けしても困るというのが本音のようです。

政治家や官僚の汚職があって、その次は、国が借金をせざるを得ない状況になります。

どんどん借金をし、借金体質が行き着くところまで行き着くと、臨界点に達してデノミをする事になります。

どちらも国民に迷惑をかけるわけです。

そうなると、借金を返せるわけがありませんから、いづれデフォルト（借金の踏み倒し宣言）をせざるを得ない。

大体どこの国も、見ていると同じような事をしています。

デフォルトをして借金踏み倒し宣言をすると、その国は今度は諸外国から融資を受けません。

その時の条件で、色々な制限が付けられて、その通りに実行して行って国を再建するという流れになりますが、大体破綻した国は地下経済が発達をするようです。

先ほど申しましたように、トルコは4割から5割の地下経済でした。

こういう流れで考えると、日本もそろそろ危険水域に来ていると思います。

政治家の腐敗、官僚の腐敗は当たり前です。

借金は、もう臨界点をとっくに超えています。

いつ何時弾けてもおかしくないと、他の国々を回ってみると感じます。

私がトルコであった方々は、一つの職業だけで生活をしている人はあまりいませんでした。

他の仕事を2つ3つ持って、それで何とか生活しているわけです。

これから我々が体験するであろう国がひっくり返ったら、今貰っているお給料では食べ

ていけないような世の中になると思います。

貨幣価値が全く分からなくなってしまう。

貰ったお給料では食べていけませんから、仕事を掛け持ちするようになります。

真っ当でない仕事をする人達も増えるでしょう。

食べものそのものも無くなってしまいますから、自給自足しなければならなくなるでしょう。

いづれにしても国民は大変な被害を被ることになります。

マクロで見ると、2、3%の富豪が生じ、70~80%の貧困層が生じ、10数%の中間層が残る、というような状況になるだろうと回ってみて感じました。

一億総中流と思っていた国民のほとんどが貧困層になるだろうと思います。

昨年から今年にかけて、経済破綻というテーマで色々な国々を回りました。

事上磨練・知行合一という観点から見ると、事上磨練は一つのテーマを持って生活の中にそれを取り入れることです。

自分で身体を運び、自分の目で見、自分の耳で聞き、体験を重ねる。

そうすると必ずその中から共通したヒントが見えてきます。

それが又、自分が次に動くべきもののエネルギーの源になるように感じます。

本だけ読んでいるのでは、動こうという気持ちにはなりません。

実際に現地に行って、経済破綻というテーマを持って見ていくと、それなりのものが自分の身体の中に流れ込んで来ます。

ちなみに私は先日、日本民俗経済学会で話をしました。

モスクワに行った時に、お会いした大学教授から、

「あなたは色々な資料を沢山とって見ているけれども、そんなものは役に立ちません。ロシアでは表経済で税金を納める場合にも、正直に所得を申告しません。政府に一切報告をしないで仕事をしています。あなたが見ている資料は、実態を反映していませんよ。」という話を伺いました。

これを民俗経済学会で発表しましたところ、参加されていた先生方は、

「それはその通りでしょうね。しかし学者としてはデータを見るしかない。データによって分析し判断しているのです。」と言われます。

やはり机にいるだけの不明確なデータをもとにしての研究は、すぐに行き詰まります。

現実に関心を持って出かけて行ってものを見る事によって、触発されたり啓発されたりするものがあります。

それをもとにして数字を見れば、実際と違っている所が見えて来ます。

こういう動きが自己を向上させるし、所属する組織も向上させ、国家の役にも立っているのではないかと思います。

事上磨練とはそういう事だと考えて下さい。

知行合一は、「知っているよ」と知ったかぶりをして言うてはいけないという事です。

現実の体験の裏付けがなければ、知っているとは言えません。

一知半解では、何か心の中にひずみをもたらすように感じます。

事上磨練と知行合一をまとめます。

事上磨練とは、日常生活の中でテーマを持って動けば、必ずおやっと思う感動・驚きが出てきます。

それを繰り返す事によって、はっと気が付いたら、自分自身がかなりのレベルになっているということです。

知行合一とは、動かざるを得ないと思うようなエネルギーが心の中に湧き上がって来た時は、即動く事が良いということです。

「即、動きたい」と思わないようなものであれば、動く事はない。

<即、行きたい> <即、調べたい>、即・・・したいと思うようなものであれば、心の中の見知らぬ声にしたがって、即動く事です。

以上で本日の中斎塾フォーラムは終了させて戴きます。

有難うございました。